【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成27年9月3日(2015.9.3)

【公表番号】特表2014-524409(P2014-524409A)
【公表日】平成26年9月22日(2014.9.22)
【年通号数】公開・登録公報2014-051
【出願番号】特願2014-523104(P2014-523104)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　31/5513　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　45/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　45/06　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/18　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/5517　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/5513
Ａ６１Ｋ　45/00
Ａ６１Ｋ　45/06
Ａ６１Ｐ　31/18
Ａ６１Ｋ　31/5517

【手続補正書】
【提出日】平成27年7月14日(2015.7.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも一つのブロモドメインおよびエキストラ末端(BET)タンパク質アンタゴニストおよび少なくとも一つの医薬用担体を含む、HIV感染を治療または阻害するための医薬組成物。
【請求項２】
少なくとも一つのブロモドメインおよびエキストラ末端(BET)タンパク質アンタゴニストを含む、HIVに潜在的に感染している細胞におけるHIV再活性化を誘導するための組成物。
【請求項３】
少なくとも一つのブロモドメインおよびエキストラ末端(BET)タンパク質アンタゴニストを含む、HIVによる細胞の感染を阻害するための組成物。
【請求項４】
該BETアンタゴニストがブロモドメイン含有タンパク質4(Brd4)アンタゴニストである、請求項1から3のいずれかの組成物。
【請求項５】
該BETアンタゴニストが小分子である、請求項1から3のいずれかの組成物。
【請求項６】
該BETアンタゴニストが、該 BETのアセチル化リジン結合ドメインに特異的に結合する、請求項1から3のいずれかの組成物。
【請求項７】
該BETアンタゴニストがJQ1(+)またはI-BETである、請求項1から3のいずれかの組成物。

【請求項８】
少なくとも一つのさらなる抗-HIV化合物と併用して投与される、請求項1から3のいずれかの組成物。
【請求項９】
高活性抗レトロウイルス剤療法と併用して投与される、請求項8の組成物。
【請求項１０】
少なくとも一つのさらなる活性化剤と併用して投与される、請求項1から3のいずれかの組成物。
【請求項１１】
該さらなる活性化剤が、プロテインキナーゼC活性化剤、ヒストン脱アセチル化酵素阻害剤、TNFα、PHA、Tat、およびIL-7からなる群から選択される請求項10の組成物。
【請求項１２】
少なくとも一つのブロモドメインおよびエキストラ末端(BET)タンパク質アンタゴニストおよび少なくとも一つのさらなる抗-HIV化合物および/または活性化剤を含む組成物。